ＯＢだより

第42号
発行
京都外国語大学
能楽部ＯＢ会
事務局・広報部

創部四十五周年記念外大能

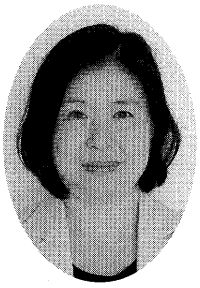
本年度、京都外国語大学能楽部が創部されて四十五周年。そして今年の外大能は三度目の現役とＯＢ会共催の記念大会です。現役からは四回生の坂本さんが能『羽衣』を、ＯＢ会からは執行部副会長の奥田さんが能『鉄輪』を演じます。他にもＯＢ会からは舞囃子二番、仕舞十一番もの参加で現役の舞台を応援します。外大能の盛会とＯＢ会の更なる団結を祈念し、十二月三日、大舞台〝京都観世会館〟にて第四十二回創部四十五周年記念外大能を迎えます。どうぞ、ご家族、お友達をお誘い合わせの上お越しください。ＯＢ会で外大能を応援しましょう！

（事務局一同）



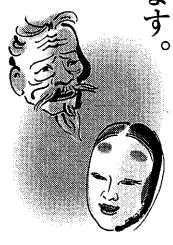
羽衣（イメージ）▶

伝統の四十五周年。その喜びを共に分かち合いたい。



ＯＢ会会長　島谷直美

来る十二月三日、創部四十五周年を記念し、現役とＯＢ会共催の「外大能」が、京都観世会館にて、催される事となりました。ＯＢの皆様のそれぞれの四年間のクラブ、能への思いが積み重ねられ、今年で四十五年という、長い伝統が作られてきました。現役とＯＢの共催会も三回目と回を重ねてまいりました。能への思いを大切に育んだ学生時代の四年間、そして、卒業した後も、その思いを現役と共に分かち合える喜びに心より感謝しています。「能は一生・・」の言葉の重みを、現役と一緒に感じ合える様な会を目指したいと願っています。今年の会は、現役の能一番、舞囃子六番、仕舞六番と共に、ＯＢ会より、能一番、舞囃子二番、仕舞十一番の大変豪華な番組となりました。また、ＯＢ会を代表して、副会長の奥田圭一氏が、能「鉄輪」を舞われます。ＯＢ連吟は、「菊慈童」となり、一人でも多くのＯＢの皆様に参加して頂き、共に学生時代を懐かしんで頂ければと思っています。十二月三日、京都観世会館にて、皆様にお会いできます事を心より願っています。



（脚注：中面イメージ写真は檜書店発行『観世』より）

ＯＢ会の諸先輩方へ。

部長　塚田智恵



平成十七年十二月三日、創部四十五周年記念外大能をＯＢ会との共催で観世会館におきまして開催させて頂けることとなりました。ＯＢ会の方々と共催で外大能を催させて頂ける事は大変嬉しくまた素晴らしい事だと思っております。

今年の外大能は『羽衣』、舞囃子六番、仕舞六番、そしてＯＢ・ＯＧの先輩方の能『鉄輪』舞囃子二番、仕舞十一番となっています。観世会館という大きな舞台で、このような会を開催させて頂けるという事は私たちにとって大きな喜びです。ある先輩が『外大能は甲子園だ』とおっしゃっていましたが、まさにその通りだと思います。能楽部は自分を成長させる場所で、外大能はその成果を発揮することの出来る舞台です。冬の甲子園として、今年準優勝した外大西高に負けないような舞台をＯＢ会の方々とともに作り上げていきたいと思っております。

最後になりましたが、橋本礒道先生、橋本忠樹先生をはじめとします諸先生方の御指導ＯＢ会の皆様の御援助に感謝申し上げ、この場をお借りしまして心より感謝し御礼申し上げます。

【現在の執行部】

部長／塚田智恵（3）
副部長兼渉外／久世真実（3）
渉内／星　裕子（3）
外大能会計／内田麻也（3）
情宣／高尾智憲（3）
会計／石黒真由（3）
外大能実行委員長／氏平ちせ（2）
連盟／岸本充雄（2）
※（　）は回生

第四十二回　創部四十五周年記念　外大能番組（簡略）

連吟　**巻絹**　部員一同

舞囃子　**高砂**　塚田智恵
吉野天人　渡辺けい子

仕舞　**田村**キリ　岸本充雄
経正クセ　西村文香
胡蝶　野木咲子

舞囃子　**班女**　久世真実
野守　高尾智憲

仕舞　**敦盛**キリ　石黒真由
杜若キリ　花野仁美
放下僧小歌　氏平ちせ

能　**羽衣**和合之舞　坂本仁美

仕舞　**笠之段**　兵道亮太（ＯＢ）
花筐狂　松田陽一（ＯＢ）
山姥キリ　村城まどか（ＯＧ）

★必ず足袋をご持参ください。
多数のご参加をお待ちしています。

仕舞　**俊成忠度**キリ　松田高雅（ＯＢ）
井筒　土井智代（ＯＧ）
網之段　栗山藍（ＯＧ）
天鼓　丸町年和（ＯＢ）
清経クセ　藤原敏起（ＯＢ）
巴　安元麻衣子（ＯＧ）
笹之段　鴨川愛子（ＯＧ）
女郎花　井上真一（ＯＢ）

舞囃子　**松風**　越智公子（ＯＧ）
花月羯鼓入　島谷直美（ＯＧ）

連吟　**菊慈童**　ＯＢ・ＯＧ

番外仕舞　**老松**　橋本雅夫

舞囃子　**土蜘蛛**　橋本忠樹
橋本礒道

能　**鉄輪**　奥田圭一（ＯＢ）

後見　木村与宣（ＯＢ）
橋本雅夫

地謡　松田高雅（ＯＢ）　藤原敏起（ＯＢ）
松田陽一（ＯＢ）　橋本忠樹
兵道亮太（ＯＢ）　橋本礒道
三谷直樹（ＯＢ）　橋本光史

附祝言

現役と舞台を共有する喜び。

奥田圭一

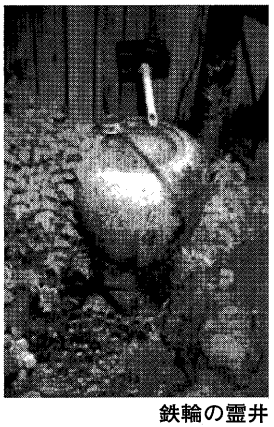


思い起こせば二十何年前、外大能の打ち上げの席で、般若を着けたいといって安達原に決めていただいた。般若は女のひとに角が生えたものだと知ったのはいつのことだったか。牙をむいた大いなる怒りの相をなし、しかし目許は泣いている。

そして今度は、鉄輪である。青白い炎を放つ泥眼、後は橋姫。目は血走り真っ赤な怒りに膨れ上がった形相であり、恐ろしくかつ魅惑的だ。実生活ではこんなひとは御免だ。

この曲もやはり打ち上げの席で決めていただいた。まあ、酒席での依頼事は礒道先生の得意技でもあり、こちらも長年培った返し技で、酔いに任せて杖を持つ難曲を許していただいたりもしており、鉄輪も然り。地頭の依頼をいただくときは、返しきれていないが。

すらっと書いたが、能である。大変なことだ。近ごろ、記憶が定かでないときがある。酒絡みではなく、今やろうと思っていたことを忘れてしまう、何をしようとしていたかさえ分からない。そんなことが間々ある。にもかかわらず謡は諳んずることができる。何帖もある謡を記憶するなどという能力は、すでに失われたと思っていたのに。そして英単語は頭に入らない。単語も謡って覚えるべきか。それとも気合の入り方が違うからなのか。



鉄輪の霊井

舞台では脳内麻薬を感じ、アドレナリンも駆け巡る。現役では無我夢中で知らなかったこの感覚に、今では取り憑かれた。仲間たちの笑顔にも。気持ちをひとつに舞台を終え、皆でする乾杯こそがビールの味を極上にする方法。そんな幸せがここ数年続いている。舞台での感覚を得るまでには、何かを犠牲にしてきた気もするが、それは思い出せない。

今年は創部四十五周年記念であり、現役との共催、場所も観世会館とスペシャル感が溢れている。十余名が舞台に直接参加する。連吟・打ち上げ共に、より多くのＯＢ・ＯＧに来場いただき、懐かしみ、喜びを分かち合い、旨いビールを飲みたいものだ。

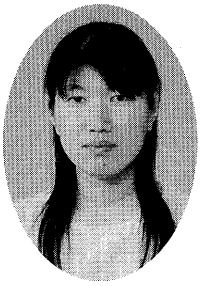


鉄輪
(イメージ)▶

(脚注:中面イメージ写真は檜書店発刊『観世』より)

新ＯＢ会員紹介

★年度代議員(五十音順)



会員 No.131
越智公子

現役最後の外大能の舞台を終えてから、もうすぐ一年が経とうとしています。坂本さんがお能のお稽古をしている姿、塚田さんたち三回生が下回生に指導している姿、自主練に励んでいる二回生の姿、そして新しく能楽部の一員になった一回生の姿をボックスで見る度に、私がいた頃とは少し違う、新しい能楽部の雰囲気になりつつあるんだなぁと感じています。この四年間、謡や舞が思うように上達せずに泣いたこともありましたし、同回生と喧嘩したこともありましたが、今は四年間能楽部を続けて良かったという満足感でいっぱいです。

私がそんな楽しい能楽部生活を送ることができたのは、ＯＢ会の先輩方のたくさんの支えがあったからこそなのだと思います。こんな素敵なＯＢ会の仲間入りをさせて頂けること心より感謝しています。ＯＢ・ＯＧの先輩方これからよろしくお願いします。私も先輩方のような素敵なＯＧとなれますように。



会員 No.132
★鴨川愛子

この度、新ＯＢ会員となりました鴨川愛子です。昨年の外大能では、能楽「安達原」の前シテを勤めさせて頂きました。早いもので、卒業して半年以上が過ぎました。学生時代とはまた違う、新しい環境に戸惑いながら、現在は大阪にある不動産会社に勤務しております。

辛い時や寂しい時、何か失敗をした時に思い出すのは、やはり能楽部の事です。四年間共に過ごした仲間は、私の大切な心の支えとなっています。毎日ＢＯＸで当たり前の様に会って、おしゃべりしていたあの頃が、今はとても贅沢であったと思います。

能楽部を通して、素晴らしい出会い、経験をし、私自身大きく成長することができました。お世話になった方々に、この場をお借りして御礼申し上げます。

今後はＯＢ会の一員として、少しでも現役のサポートが出来る様、頑張ります。何卒宜しくお願い致します。



会員 No.133
木村与宣

本年度よりＯＢ会新会員となりました木村与宣です。この度、伝統あるＯＢ会の一員となれたことを誇りに思うとともに、身の引き締まる所存です。

支えられていた――現役部員としての四年間を振り返ると強くそのように感じます。

初めて外大能の舞台に立たせてもらった一回生の冬は京都観世会館で催されたＯＢ会共催の会でした。ＯＢ・ＯＧの先輩方による御支援の上に成り立っていた訳ですが、恥ずかしいことに、当時は先輩方の背中しか見えておりませんでした。

仕舞・舞囃子・能と、自分も先輩方が築いてこられた四年間の道を歩ませてもらいました。一人で歩み切れた訳ではありません。多くの支えがあって歩み切れたのです。外大能は勿論、合宿や交歓会でのＯＢ会による多方面からの御助力は四年間を極めて有意義なものにして頂きました。

支え続けていく――現役当時お世話になった方々への感謝の意を込め、そして能楽部の終りなき発展・飛躍・向上の為の抱負です。



会員 No.134
土井智代

初めまして。日本語学科卒の土井智代と申します。昨年の第四十二回外大能では、能楽「胡蝶」の後シテを勤めさせていただきました。昨年の外大能も無事盛会に終えられましたこと、この場をお借りして御礼申し上げます。クラブの楽しい雰囲気と先輩方のかっこいい舞に惹かれて入部して以来、能楽部が私の大学生活そのものになりました。四年間、ほとんどの時間を部室で過ごし、学び得たことは数知れません。色々な事がありましたが、やはり私はお能もクラブも大好きです。楽しい四年間を過ごすことができたのも、礒道先生、忠樹先生をはじめ、ＯＢ会の先輩方の御尽力があってのこと。これからは少しでも後輩達の力になれるよう努めると同時に、卒業して改めて気づいたお能の魅力を自分自身もまた、追い続けていきたいと思います。四年間ありがとうございました。今後はＯＢ会の一員としてよろしくお願い致します。



会員 No.135
光田優芙子

この度は京都外国語大学能楽部ＯＢ・ＯＧ会に加えていただき、誠に光栄に存じます。現役時代、先輩方には様々な面で大変お世話になりました。実際お会いした事の無い先輩でも、今も部室に残る資料や寄贈品などから与えられた恩恵ははかりしれません。そんな自分がＯＧと呼ばれるようになるとは、何だか気恥ずかしく感じます。京都を離れ、能楽に触れる機会は皆無に等しい状態ですが、四年間活動した日々は今も色あせずにいます。あの頃に多少の能楽に関する知識を憶え、自分なりの嗜好を持つことが出来たことは幸運なことだったと思います。何より伝統芸能というものに対する偏見が無くなったことでした。古くさい、堅苦しいといったイメージが、伝統という言葉の中に今も根強くあることは、友人との会話などから痛感させられます。それは大変残念な事ですが、能楽の楽しみをそう簡単に教えることが出来ないのもまた事実です。まずは、伝統芸能が昔を懐かしむ懐古趣味などではなく、単なる娯楽、現在進行形で楽しめるものなのだという認識が必要なのだと思います。この面白さを広めるためには、たくさんの人に京都へ行き能楽部に入ってもらうことが一番でしょう。その為にも、少しでも現役の皆さんの力になれるよう何が出来るのか考えていきたいです。



会員 No.136
安元麻衣子

この度、ＯＢ会に入会させて頂き、大変嬉しく思っております。卒業して早八ヶ月。クラブにも、能そのものにも触れる機会がめっきり少なくなってしまいました。そうして、改めて、お能のシテに立つということがいかに特別なことか、痛感されます。クラブを離れてまだ一年と経っておりませんが、それでも、学生のうちに能に打ち込めてよかった、あの時間だからこそ出来たことだと、ひしひしと感じております。

ふとしたことがきっかけで、能楽部に入り、お能を観るようになりました。稽古を離れて観るお能もまた、違った見方が出来て面白いものでした。お能は年を重ねる程に面白みが増すだろうと思いました。

能の舞台に立つという、類いまれなる経験。後輩の皆にもぜひ、この貴重な体験をして頂きたい。これからはＯＧとして、援助させて頂きたいと思っております。皆様、今後共、何卒宜しくお願い申し上げます。

執行部からのお知らせ

■2005年度OB懇親会を終えて

今年は懇親会の年でした。昨年卒業の松田陽一氏に幹事をお願いし、8月7日京都市下京区木屋町の雪月花にて開催されました。16名の参加で楽しいひとときを過ごしました。
ご出席頂いたOB･OGの皆様、有難うございました。

■来年度総会の予告と会費未納の方へのお願い

来年度は2年に一度の総会の年です。近年、執行部からお願いしております会費未納の課題を少しでも早く解決すべく話し合いを持ちたいと考えております。
会費は外大能を支援する大切な資金源です。現役部員達が毎年立派な舞台に立つことが出来るようOB会で応援しようではありませんか。何卒OB会の役割と趣旨をご理解頂き、未納分を一度にまとめての納入、または分割で少しずつ納入して頂いても結構です。ご協力の程、宜しくお願い申し上げます。

■企画部からのお願い

OB会を盛り上げていくために色々な企画を進めて参りたいと考えております。
ご意見などございましたら忌憚なくお聞かせください。（下記専用メールアドレスをご活用ください）

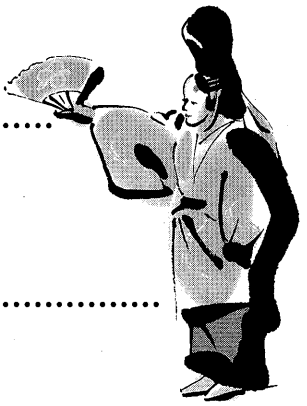
■会員部からの報告

今年の懇親会にてOB会員名簿の発行を2年に一度の発送とさせて頂くこととなりましたことを報告致します。ご了承ください。

専用メールアドレスとホームページのご案内

『OB会執行部宛の専用アドレス』 ➡ gaidainoh@yahoo.co.jp

昨年度、発足いたしました京都外国語大学能楽部OB会執行部宛の専用アドレスです。
ご意見やお問い合わせなどございましたらご活用ください。



『京都外国語大学能楽部のホームページ』（サイト名です）

➡ http://www.kufs.ac.jp/student/nogaku/index.html

能楽部の現役が管理しているサイトです。部員の紹介をはじめ、外大能のお知らせなど楽しいホームページです。是非、一度ご覧ください。

『観世流能楽師 橋本忠樹のホームページ』（サイト名です）

➡ http://www.k2.dion.ne.jp/~t7d7/index.htm

橋本礒道先生とご一緒に外大能楽部講師としてご指導くださっています橋本忠樹先生のホームページです。
能楽の解説をはじめ能楽界にまつわる様々なお話が分かり易く解説されています。
興味深いコンテンツが盛り沢山ですが、徒然日記は必見です。

会計局から会費納入のお願い

◎一般会員　8千円
◎夫婦会員　1万2千円

前年度分まで未納の方は本年度分と併せてお振り込みくださいます様お願い申し上げます。

［振込先］
☆郵便口座
００２８０-１-５２０７６
☆加入者名
京都外国語大学
能楽部ＯＢ会

編集後記

ひと言で創部四十五周年ですが、皆様それぞれの想い出がギッシリ詰まった四十五年間だと思います。四十五年もの間、外大能楽部を温かくご指導くださっています橋本礒道先生にこの場をお借りして厚く御礼申し上げます。今後もご指導の程宜しくお願い申し上げます。
そして五十年、六十年…と続くようOB会の皆様のご支援宜しくお願いいたします。

《ＯＢだより第42号》
◎編集責任者　藤原敏起
（編集委員／石水真理・須田啓子）
◎発行責任者　島谷直美